

2023 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目

・ 一般科目

1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	航空整備科 ヘリコプタ整備士コース	担当	矢野善之 (常勤)	開講時期	3年次 通年
科目名	航空機取扱	授業 方法	講義 演習・実習	教育時間	60
教科書	航空機取扱ワークシート				
	ベル206A/B メンテナンスマニュアル				
参考書	日本航空技術協会 「航空機の基本技術」 ベル206型 飛行規程				

教 育 の 内 容				
授業概要	主にベル式 206B 型機の運航整備業務(日常保守、各種点検整備、不具合処置等)と技術管理を、座学及び実技教育によって、習得させる。			
実務経験	航空機使用事業会社の実務経験を活かして航空機取扱の授業を行っている。			
授業の進め方	教科書と参考書を基に座学を進めて行きます。			
到達目標	二等航空運航整備士の資格取得に必要な航空機取扱について理解する。			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	80%	—	20%	100%

授 業 計 画				(1単位時間=50分)
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
1	地上取扱(グラウンドハンドリング・ジャッキング・ホイスティング・レバリング)	9		
2	整備技術関係書類の取扱	9		
3	ベル式 206B 型機体・エンジンのロケーション	10		
4	サービシング	6		
5	重量・重心測定	3		
6	機体アライメント測定	5		
7	日常点検(飛行前・飛行間・飛行後点検)	10		
8	飛行規程	8		

学科	航空整備科 ヘリコプタ整備士コース	学年	3年
科目	航空機取扱	授業方法	講義

項目	教育内容	実施月	教育時間	備考
1 地上取扱	1. ディメンション及びエリア a. 全長、全幅、全高 b. ステーション・ナンバーの基準点と表示方法	4月～5月	8	
	2. グランドハンドリング要領 3. トーイング・野外駐機・繫留の要領 4. ジャッキングの要領 5. レベリングの要領			
	確認試験		1	
2 技術書類	1. 技術書類の種類	6月	8	
	2. AMMの構成と使用方法 整備方式、運航整備、定期整備、特別点検			
	3. サービスマニュアルの構成と使用方法 4. パーツカタログの構成と使用方法 5. 運用許容基準			
	確認試験		1	
3 ロケーション	1. 機体・エンジンの概要と特徴	7月～8月	9	
	2. 各部名称、構造、機能			
	確認試験		1	
4 シンガビ	1. 油脂の種類、用途、取扱、保管法	9月	5	
	2. 燃料の一般知識、補給、取扱			
	確認試験		1	
5 重量重心	1. 航空機の重量の種類、測定方法 2. 重心位置の算出方法 3. 重量・重心の限界	10月	3	
6 アライメント	1. ランディング・ギアのアライメント クロスチューブの撓み測定	11月	4	
	確認試験			
7 日常点検	1. 飛行前・間・後点検の要領、内容、実施方法	12月	9	
	2. 飛行可否の判定、不具合処置			
	確認試験		1	
8 飛行規程	1. 飛行規程の構成、内容	1月	7	
	2. 飛行規程の取扱、改訂			
	3. 追加飛行規程の項目、内容			
	確認試験		1	

2023 授業計画書 (シラバス)

科目区分

(専門科目) ・ 一般科目

1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	航空整備科 ヘリコプタ整備コース	担当	矢野善之 (常勤)	開講時期	3年次 通年
科目名	航空機取扱	授業 方法	講義・演習・(実習)	教育時間	140
教科書	航空機取扱ワークシート				
	ベル206A/B メンテナンスマニュアル				
参考書	航空機の基本技術				
	ベル206B型 飛行規程				

教 育 の 内 容				
授業概要	主にベル式206B型機の運航整備業務(日常保守、各種点検整備、不具合処置等)と技術管理を座学および実技教育によって習得させる。			
実務経験	航空機使用事業会社の実務経験を活かして航空機取扱の授業を行っている。			
授業の進め方	教室にて座学を実施後、実機にて確認をしながら進めていきます。			
到達目標	二等航空運航整備士の資格取得に必要な航空機取扱について習得する。			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	50%	30%	20%	100%

授 業 計 画				(1単位時間=50分)
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
1	地上取扱(グラウンドハンドリング・ジャッキング・ホイステイング・レベリング)	28		
2	整備技術関係書類の取扱	9		
3	ベル式206B型機体・エンジンのロケーション	27		
4	サービシング	21		
5	重量・重心測定	8		
6	機体アライメント測定	6		
7	日常点検(飛行前・飛行間・飛行後点検)	32		
8	飛行規程	4		
9	試験	5		

学科	航空整備科 ヘリコプタ整備士コース	学年	3年
科目	航空機取扱	授業方法	実習

項目	教育内容	実施月	教育時間	備考
1 地上取扱	1.ディメンションおよびエリア a.全長、全幅、全高 b.ステーションナンバーの基準点と表示方法 2.グラウンドハンドリング要領 3.トーイング・野外駐機・係留の要領 4.ジャッキングの要領 5.レベリングの要領	4月～8月	26	
	技量チェック			
2 技術書類	1.技術書類の種類 2.AMMの構成と使用方法 (整備方式、運航整備、定期整備、特別点検) 3.サービスマニュアルの構成と使用方法 4.パーツカタログの構成と使用方法 5.運用許容基準	9月	8	
	技量チェック			
3 ローケイション	1.機体・エンジンの概要と特徴 2.各部名称、構造、機能	10月～11月	25	
	技量チェック			
4 グービシン	1.油脂の種類、用途、取扱、保管法 2.燃料の一般知識、補給、取扱	12月	19	
	技量チェック			
5 重量重心	1.航空機の重量の種類、測定方法 2.点火系統の構造、機能 3.重量・重心の限界	12月	7	
	技量チェック			
6 アライメント	1.ランディング・ギアのアライメント クロスチューブの撓み測定	12月	5	
	技量チェック			
7 日常点検	1.飛行前・間・後点検の要領、内容、実施方法 2.飛行可否の判定、不具合処置	1月	30	
	技量チェック			
8 飛行規程	1.飛行規程の構成、内容 2.飛行規程の取扱、改訂 3.追加飛行規程の項目、内容	1月	3	
	技量チェック			
9 試験	1.総合技量確認試験 2.前期、後期定期試験		5	